

碧南ロータリークラブ週報

第2666回例会 平成25年11月27日(水)

●会長 長田 豊治

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- ●幹事 岡本 明弘
- ●会場監督(SAA) 角谷 信二

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■

■例会場 碧南商工会議所ホール

碧南商工会議所內 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ:http://www.hekinan-rc.jp E-mail:info@hekinan-rc.jp

■会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次



●斉 唱

■事務局

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

●本日のメニュー

季節のお弁当 とんがり帽子

●本日のお客様

碧南市消防署副署長 鳥居徳義様

会 長 挨 拶

この土日にはウェスティンナゴヤキャッスルで開催された 2760地区地区大会に参加してまいりました。いつもの会場 ということで気楽に出かけましたが、毎年の設営に色々とアレ ンジがありました。会場の舞台が北側に設置がされておりまし たし、昼食は午前10時30分からビュッフェ形式で沢山食べ ることができました。



長田豊治会長

会長代理は台風30号で甚大な被害のあったフィリピンからアントニオ・ラフィーノさんが参列されました、一日目には指導者育成セミナーがあり、二日目のファミリープログラムは徳川美術館でした。

記念講演は トヨタ自動車栄誉会長の張富士夫さんの「グローバル時代の企業経営」でございました。12時30分の開会以来17時30分までの間、ホテルの椅子に長時間座っているのはきつかったです。

さて、地区大会になると12年前に碧南クラブがホストをした、2001~2002年度 大会を思い出します。当時はゴルフ大会もありましたので3日間のために何度も臨海体育館 と衣浦グランドホテルでの会議とリハーサルに汗をしたことを思い出します。当時は80名 ほどの会員が山中寛三実行委員長の下に組織されました。井上達夫先生が会長の時です。 RI会長代理にはイギリスからノエル・フライヤさんが派遣され平岩統一郎さんが張付いておられたし、ロータリーミーティングの講師には佐藤千寿さん、記念講演には長谷川慶太郎さんをお願いするのに東京まで走る人、屋外の友愛の広場にテントを張る人、呈茶席に傘を広げる人、2,000食の弁当の準備に市内の料理屋さんを集めてレシピの説明をする人、その弁当の包装紙に絵を描く人、ファミリープログラムで無我苑まで走る人、刻々と変更の懸かる名簿を整理する人、そして地区大会記録誌を編集する人、などなど総額6,500万円の事業を会員が一丸となって「手作り」で成し遂げたことを誇りに思います。みなさん有難うございました。

本日は防災のお話しを聴かせていただきます。

幹 事 報 告

本日の幹事報告は3点ございます。

- ・ 例会変更等は幹事報告書の通りでございますので、ご一読お 願い致します。
- ・ 皆様のメールボックスの方に、ガバナー事務所からの201 ^{岡本明弘幹事} 3年、2014年の地区プロジェクト引き渡しの案内を入れておきました。本年度の地区の事業としては、ベトナムのビエンホア市の幼稚園の改修工事がございます。興味ある方は事務局までお願い致します。
- ・ 55周年に関して、第3回目の説明になります。本日は55周年の行事についてご説明させて頂きます。4月6日の記念例会、3月19日の慰霊祭、55周年の記念誌というのが主なものでございます。メイン行事が記念例会となります。会長方針の、ロータリーファミリーで祝おう、という事で、近隣のクラブを呼ばず身内で楽しもうという事です。3月例会から徐々にムードを高めていって、記念例会を楽しめるよう企画しております。来年に、詳細を少しずつ説明していこうと思いますので、よろしくお願い致します。

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 8 名)出席者 51 名	
出席対象者 51/64名	出 席 率 79.69%
欠席者 15 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 94.12%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

長田 豊治君 〕 地区大会が無事に終わりました。中身が濃い大会でした。会員の皆様には **岡本 明弘君** 〕 大変ありがとうございました。

長田 昌昇君 平松太君、木村徳雄君にお世話になりました。

伊藤 正幸君 地区大会で皆様にお世話になりました。長丁場でお尻が痛くなりましたが

張さんのお話はありがたかったです。

奥田 雪雄君 11月27日、今日は何の日でしょう。私の誕生日です。キャロライン・

ケネディー大使の誕生日でもあります。それが何だと言うんだ。何でもな

いよ。

清澤 聡之君 先日の11月18~20日の3日間、西方寺に於いて慶讃法要が盛儀に勤

まりました。大変ありがとうございました。

山中 寛紀君 先日、地区大会途中早退させて頂き失礼致しました。

角谷 修君 本日の卓話の講師を紹介させて頂きます。碧南市消防署副署長鳥居徳義様

です。

杉浦 栄次君 角谷信二さん、新美惣英さん、新美雅浩さん、角谷修さんに東京で弟とも

どもお世話になりました。ありがとうございました。

卓話

「碧南市の災害について」 碧南市消防署副署長 鳥居徳義様





鳥居徳義様

碧南消防署の鳥居と申します。普段から、ご支援、ご協力して頂いております事を、この 場をお借りしてお礼を申し上げます。

実は、3年ほど前も呼んで頂きまして、お話をさせて頂いたのを記憶しております。今回は、「碧南の消防の実情と大地震がきた際の被害想定」についてお話したいと思います。

碧南市の火災と救急の件数についてですが、今年の1月1日から現在まで火災は21件で、 その内大きな火災は2件です。その内容を説明したいと思います。

まず1件目は、5月17日の朝の10時20分頃、日進町の日進公園東の共同住宅で、1階の住宅から出火し2階まで延焼しました。4件の住宅の内、2件が全焼しました。大きな火事になったのは、共同住宅が通りの少ない道路に面しており、派遣が遅れたためです。

もう1件は、5月26日の23時15分、新川町新川中学校西の一般住宅で、1階の居室が燃えております。

昨年の火災件数は14件でした。これは碧南消防署が昭和36年に発足し、統計をとり始めて最小でした。平年ですと30件前後の件数が発生しております。衣浦東部でも昨年は過去最低件数でした。

全国で比べてみますと、その指標となるのが出火率というものです。出火率というのは、 人口1万人に対する出火件数で、碧南の場合人口が7万ですので、出火件数14を割ると出 火率は2となります。出火率の全国平均が5程度ですので、昨年は全国平均の半分以下だと いう事が分かります。昨年の出火原因の第1位が放火で、次いでコンロ、となっております。 第1位が放火というのが20年前から変わっておりません。精神的にストレスを受ける場面 が増えてきたのが原因では、と思っております。

救急件数は、昨年碧南市で、2,613件で年々増加しております。急病が全体の60%を占めております。次に多いのは、転倒や階段から落ちた等の一般負傷で、全体の13.5%を占めております。3番目は交通事故で全体の10%程です。

救急件数が増加してしまうと、救急車が出動中に別で発生した場合、救急車が遅れるという問題が発生します。最寄りの救急車が出動中のため、重傷の助かる人が助からないという事になりかねません。

南海トラフ地震の被害想定についてお話します。マグニチュード9.1で、32万人の死者が出るとされています。東日本大震災の10倍を超える規模です。今年、南海トラフ地震の愛知県の被害想定を発表しております。新聞に載ったのは県内の被害想定でしたが、今日は碧南市の被害想定についてお話します。碧南市南部の低地は震度7、北側の高地は震度6強、となっております。1,100人が死亡するとなっております。建物倒壊等で500人、浸水津波で300人、火災で300人が亡くなると想定しています。

建物の全壊消失棟数は14,000棟だと考えられています。その内訳が、強い揺れでの全壊が8,700棟、液状化によるものが100棟、浸水津波が20棟、火災が5,400棟、以上が全壊消失して無くなると想定しています。碧南の建物の内、約半分以上が全壊すると想定されております。特に碧南南部は津波もありますので、被害が集中するものと思われます。

火災によるものは5,400棟で、この規模ですと消防力は非常に希薄でございます。碧南の消防職員は80名、消防車は7台でございます。消防団を併せても碧南全棟を消火するのは、物理的に不可能です。実際に活動できる地域は、限定的にならざるを得ないと思われます。また、消防地域を見ても断水でほとんど使用できない状態で、耐震性のある貯水層も70器しかありません。道路も家屋の倒壊等で通行できない状態も考えられます。もちろん、全国の被災していない消防隊が緊急消防援助隊としてかけつけるわけですが、早く到着しても道路状況によっては救助までにかなりの時間がかかるのが予想されます。地震で火災が発生しても、火災が小さいうちに近くにいる人が協力し、消火する事がとても大事になります。

地震が起きても火災を発生させない方法を説明したいと思います。料理をしていて火を使っている場合、まず火を消す事です。電気による火災も多く発生しております。送電が切断される事があります。電力会社は復旧のための作業に追われます。復旧時、電気を供給される側が電気を受け取るのに適切でない場合、電気による火花で火災が発生します。こうした電気による火災を防ぐには、地震がおさまったら電気のブレーカーを切る事です。その後、電気配線を点検し、不安な所があれば電気業者に点検してもらう事が大切です。

震災で大きな火災にならないためには、もう一つ、近くの人が協力し合って小さなうちに消す事が大切です。碧南市では、各地区に地震防災会が設置され、市内に2,089本の街頭消火器が設置されております。水バケツなどで消火できる小さな火に関しては、近くの人が街頭消火器等で直ちに消火する事がとても重要になります。いざという時に消火器等が使えるように、町内会等の防災訓練等に積極的に参加して頂き、普段から取扱訓練を行う事が大

切です。大地震の際は、消防力は非常に希薄であるという事を念頭に、自分達で出来る事は自分達で行う事が大切です。

また、瓦礫の中に閉じ込められた人を助ける際も市民の方の協力が必要です。南海トラフ地震では碧南市で8,700棟が強い揺れで全壊するとされています。これだけの家が倒壊すれば脱出できない人も多く発生致します。ところが、救出できる団員の数は限られ、消火活動にあたらなければならない状況ですので、救助できる現場は限定的にならざるを得ないと思います。救助活動は時間との戦いでもあります。地域の地震防災会や住民が協力し合い、救助する事がとても重要になります。

津波についてお話致します。津波によりかなりの被害を受ける事を想定しています。地震発生から66分後に4mを超える津波が碧南市に押し寄せると想定されています。高浜市には82分後に4mの津波が押し寄せます。防潮堤がありますが、被害想定は防潮堤が壊れない事を前提にしております。防潮堤が壊れた場合、もっと被害が出ると考えられます。強い揺れを感じたら、とにかく早く高い所に逃げる事が重要です。幸い、碧南市は知多半島、渥美半島に囲まれておりますので、津波の到達は66分とされておりますので、比較的時間の余裕はあります。

東日本大震災の津波の高さによって死亡率がどのように変化するか、調査されております。その結果、 $70 \, \mathrm{cm} \, \mathrm{c} \, 71.1 \, \%$ 、 $1 \, \mathrm{m} \, \mathrm{ct} \, 10.0 \, \%$ の死亡率だったそうです。台風とは違い、津波は押し寄せてくるエネルギーが大きいため、成人男性でも流されてしまい、漂流物にぶつかって死亡してしまうようです。

最後に緊急消防援助隊についてお話します。10月18、19日で緊急消防援助隊、中部ブロックの訓練が行われました。中部ブロックの消防車約100台、消防署員約500名が参加致しました。18日の午前9時に碧南市を中心とした大規模な地震があったのを想定し、愛知県への被害状況の報告を行うとともに、消防署や消防団だけでは対応できなくなった事を想定し、愛知県への緊急消防隊の要請を行いました。愛知県はそれを受け、中部ブロックの緊急消防援助隊への出動を要請しました。中部ブロックは、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、福井県、石川県、富山県の7県の事です。福井県からは約50名が出動し、18日昼頃に名神高速道路一宮サービスエリアに到着し、午後3時頃、碧南市消防署に到着しました。発災から約6時間で被災地へ到着した事になります。実際には、道路の破損や交通渋滞が発生すると思われますので、もっと時間がかかるものと思われます。午後5時から、碧南消防署にて瓦礫からの救出訓練を行いました。コンクリートの壁を手作業で除去したり、コンクリートの壁に削岩機で穴を開ける等の訓練を行いました。衣食住は自前で準備をしています。電気、ガスも自前で準備をしています。食事はレトルト食品で、お湯を使って食べる事が出来る物です。テントも張って野営も行いました。その他に、西尾消防、岡崎消防、豊田消防の3つの地区に分かれて野営を行いました。

19日には、約500名の消防隊員が集結して、9時から12時まで3時間の訓練を行っております。救急援助隊は、平成7年の阪神淡路大震災を契機に始まりました。大規模の震災には対応できない事から、平成15年6月に消防組織法が改正され、実際の運用が始まっております。阪神淡路大震災では県外へ出動する制度はなかったのですが、大量の消防力が

必要だったので国が多くの消防機関へ出動要請をし、碧南市も消防車1台を派遣し、約1週間救助活動を行いました。東日本大震災では、初めて緊急援助消防隊として出動し、碧南市 も消防車1台を宮城県へ派遣し、約1ヶ月半救助活動を行いました。

全国の緊急消防援助隊が碧南市へ駆けつける事態にならない事を願いまして、卓話を終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成25年12月11日 (水) 卓話「津軽三味線の演奏」 高松会代表 高松美幸様

平成25年12月18日(水) 卓話「明治維新を築いた、もうひとりの立役者 山中信天翁」 碧南市歴史史料員 浅井久夫様

平成25年12月21日(土)

年末家族会 17:00より 衣浦グランドホテル